



# さざんくるす



熊楠顕彰館



熊楠邸

## 「飛蚊症」



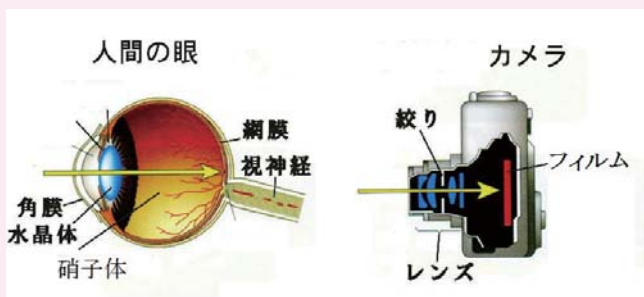
眼科  
福山 尚

「あれ？眼の中に黒い点があって飛んでいて動いている」  
こんな症状を覚えた方はたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？  
このような症状、視野にごみや虫のようなものが飛んでいるように見える症状を飛蚊症と呼びます。なんでそのような症状がでるのでしょうか？

はじめに、眼の構造をお話させていただきますと、眼球はカメラに例えることができます。角膜（黒目）や水晶体（白内障の原因となる部分）は、いわゆるカメラでいうところのレンズにあたります。網膜はカメラのフィルムに当たる部分です。レンズに相当する角膜・水晶体から入った光がフィルムに相当する網膜に当たると網膜はそれを電気信号に変えて、視神経を介して脳に刺激を伝える結果、ものが見える、ということになるわけです。

カメラの場合はフィルムとレンズの間には空間がありますが、眼球の場合はその網膜と水晶体の間に硝子体という卵の白身に似た透明なゼリー状の部分がつまっています。その硝子体の一部分に何らかの原因で“シミ、”ができてしまい、それが視野の中に入ることで飛蚊症という症状をひきおこします。

飛蚊症の原因は特に治療が必要ない「生理的」なもの、治療しないと視力が障害される「病的」なものがあります。



まずは生理的な飛蚊症ですが、硝子体は99%以上が水分でわずかに繊維を含んでいます。若いときは透明で濁りはありませんが、年齢に伴い濁りがでることがあります。いわゆる硝子体の中に“シミ、”ができてしまうわけです。これがおきると飛蚊症という症状がおきます。

これはいわゆる加齢性の“シミ、”ですので、実は以前から存在していたことがほとんどで、あるときに気づかれてびっくりされることが多いようです。

この飛蚊症は完全に消えることはありません。しかしながらこれはいわゆる加齢性の“シミ、”ですので、急激に増えることもありませんし、眼の中が“シミ、”だらけで見えなくなることもありません。この「生理的飛蚊症」の場合慣れてくると普段はその存在に気づかなくなるので、特に治療は必要としません。

その一方で治療しないと視力が障害される「病的」なものがあります。

例えば出血が原因の「硝子体出血」や、炎症が原因でおきる「ぶどう膜炎」などがあります。さらには網膜剥離の初期症状として飛蚊症がおきる場合もあります。いずれにしてもこれらが原因の場合は治療をしなければ視力改善は望めませんし、恒久的な視力低下を引き起こし場合によっては失明に至ることもあります。

飛蚊症は多くの場合は加齢に伴う生理的なものであり、過度に心配される必要はありませんが、一部は上記のように重篤な病気の前触れであることがありますので、飛蚊症を自覚したら一度、眼科を受診していただくのがよいと思います。



1867-1941

南方熊楠は菌類学者として粘菌の研究で知られ18言語を解し「歩く百科事典」と呼ばれ、言動や性格が奇抜で後世に数々の逸話を残している。

田辺市中屋敷町にある熊楠邸は熊楠が亡くなるまでの半生を過ごし、研究の拠点でもあった。

熊楠顕彰館は熊楠の生涯文献を紹介、保存している資料館です。

## 医療の現場から



泌尿器科  
若宮 崇人

こんにちは。

2014年4月から紀南病院泌尿器科に赴任している若宮と申します。

早くも2年が経過し、紀南地方にもかなり慣れてきました。以前勤務していた和歌山県立医科大学附属病院とは少し違い、患者さんも穏やかな方が多く、超高齢でも非常に元気な方が多い印象を受けています。

さて、高齢者といえば、泌尿器科を受診される患者さん、入院加療を受ける患者さんの大半は高齢者であるのが現状です。悪性疾患であれば、腎癌をはじめ、尿路上皮癌である腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、また前立腺癌などが主なところかと思えます。各疾患について大まかにお話しします。

腎癌は他科でのCT検査などで偶発的に見つかることが大半であり、進行するまで症状もなく、進行すれば肉眼的血尿や肺転移などによる呼吸器症状を訴えることがあります。尿路上皮癌に関しても、肉眼的血尿精査の過程で見つかることが大半です。「肉眼的血尿がたまにあったが、放置していた。」と泌尿器科に受診される方で、膀胱にエコーをあててみると大きな腫瘍ができていて、ということも少なくありません。高齢の方で肉眼的血尿を一度でも経験したら、早めに泌尿器科を受診することをおすすめします。

やはり、高齢になってくると全身状態が悪いことも多く、腫瘍が大きくなれば根治手術不可能となることもしばしばです。結局は持続的な血尿、それによる膀胱タンポナーデで尿閉となり、一度解除され退院にこぎつけても、再度血尿で同様のイベントを繰り返すといったイタチごっこになってしまいます。このような場合は、尿管皮膚瘻を中心とした尿路変向のみを行わざるを得ない状況も出てきます。当たり前ですが、早期発見、早期治療が重要になってきます。

続いて前立腺癌に関してですが、以前は患者数もあまり多くなかった疾患ですが、近年非常に増加傾向にあり、癌患者数は2020年には肺癌に次いで2位になると言われています。欧米人に発生率の高い癌で、米国では男性の約20%が生涯に前立腺癌と診断されます。同一人種間の日本と海外での患者割合の差は、食生活の違いにあるとされ、食生活の欧米化によって日本での罹患率も急速に上昇しております。前立腺癌は癌の中では進行が遅く、生存率、治癒率は高く、予後は良いとされます。50歳以降に発症する 경우가多く、PSA:4.0ng/ml以上であるなら泌尿器科にご相談ください。

また当科では悪性疾患だけでなく、尿路結石や前立腺肥大症、尿路感染症などの良性疾患、加えて小児疾患の患者さんなども数多く診察しています。

当院には最近流行りのロボット手術こそありませんが、それ以外は大学病院とほぼ同じレベルの手術を患者さんに提供できるようにと、スタッフともども頑張っております。そしてこの紀南地方で、初診から治療、後のフォローまでを完結できるようにと考えております。

手術待機期間はある程度ありますが、来るもの拒まずであらゆる疾患にできるだけ対応できるように心がけておりますので、良性疾患、悪性疾患問わず、今後も紀南病院泌尿器科にご紹介いただければと思います。よろしくお願いいたします。



## 災害訓練

平成 27 年度

### 『近畿地方 DMAT ブロック訓練 (机上訓練)』開催！

当院で1月30日に防火・防災委員会委員とDMAT隊員とが参加し、ブロック訓練を実施しました。災害本部の立ち上げ、衛星携帯電話を使用し広域拠点病院への連絡や患者救急搬送要請などを訓練しました。他の地域(今回は京都からの2隊)からのDMAT隊の応援を受けSCU(\*1)への患者搬送訓練などを行いました。

また、災害対策本部では並行して衛星携帯回線を使用して広域災害救急医療情報システム(EMIS)の立ち上げ、病院の被災状況や病院の患者受入可能情報などの入力、また他の病院の被災状況の確認、他の病院の



京都 DMAT 隊員 (黄色のユニフォーム) と打合せ



トリアージ作成中

DMAT隊の動きや道路交通情報などの収集をしました。収集した情報を災害対策本部での情報共有を目的にクロノロジー(\*2)という方法で時系列にホワイトボードに記入をしていきました。

その他、事前に想定していた仮想の患者受入を行いトリアージをするなど、机上とはいえ本番同様の訓練だったと思います。

(\*1) 広域搬送拠点臨時医療施設(災害発生時、患者を被災地外へ航空機搬送際の臨時医療施設) 紀南地方は白浜空港

(\*2) 入ってきた情報を、入ってきた内容のまま、  
入ってきた順番に書き出す

## 地域医療連携だより

### ――先生が小児科を選ばれた経緯について教えてください。

私は整形外科を希望していたが、祖父、父親と小児科医をしており父から整形外科を選ぶなら大学の費用を出さないとわれ小児科を選んだのがきっかけです。私自身紀南病院での勤務経験はありませんが、父親が紀南病院に定年まで勤めた後、田辺市で小児科を開業しました。そして私は父親の後を継ぐため大阪から戻ってきました。



高洲小児科  
院長 高洲 陽

### ――貴院の特徴について教えてください。

父親から受け継いだ医院ですが、田辺市で開業されている小児科の中で最も古い歴史があります。祖父自身も明治22年大阪で初となる入院病床のある小児科という医院(当時は小児科が無かった)を開院していたという代々小児科医の家系です。

### ――普段の診療で何か心がけていることについて教えてください。

現代の社会情勢かどうか分かりませんが、来院する親御さんの考え方が昔とは変わってきたと感じています。私自身、親御さんのご機嫌をとりながら診療することはしません。常に本音を親御さんに言うため時にはご機嫌を損ねて帰ってしまう方もおられます。

また、普段の診療時にはお子さんが白衣を見ると怖がるので、常に作業着タイプのシャツを着て診療に臨んでいます。たまに休日診療所の当番の時、白衣を着ると落ち着きません。(笑)



### ――今後の抱負などをお聞かせ下さい。

現状の状態を診療を続けられればと思っています。診断の困難な症例や検査の必要な患者さんは紀南病院にお願いをしたいと考えています。

### ――ありがとうございました。お体を御自愛下さり、今後共診療連携の程よろしくお願い致します。



## 研修医日記

研修医  
長井 善隆



はじめまして。紀南病院初期研修医一年目の長井と申します。私の出身大学は和歌山市にある和歌山県立医科大学です。数ヶ月毎に和歌山県立医科大学から紀南病院に研修(ローテート)にくる研修医はこれまでもいらっしゃいましたが、紀南病院を初期研修先として選ばれることはなかったとのことなので、私が和歌山県立医科大学出身で初の紀南病院研修医ということになります。

私自身、6年生の夏まで紀南病院については詳しく知らず、和歌山県立医科大学からいける外病院の一つぐらいの認識でしかありませんでした。先輩方に聞いても、「いい病院」といった漠然とした回答しか得られなかったのですが、県内では3番目に研修医を採用しており、医師の数もその他の病院と比較すると豊富であったために、ここに見学に来させていただきました。当時は車を持っていなかったため、電車で2時間ほど(節約のために鈍行で)かけて紀伊田辺に降り立ち、バスに乗ろうとしたら1時間待ち。同じ和歌山県なのに中々辿り着けず困った思い出があります。今であれば、食事どころなどで上手く時間を潰せたのですが、当時は何もわからなかったため、80歳ぐらいの、同じくバス待ちであろうおばあちゃんと一緒に、スマートフォンを片手にベンチで黙々と過ごしました。

あの見学日から約1年半。私は医局の机で黙々とこの研修医日記を打ち込んでいます。田辺に住み始めて約1年。元々楽器ぐらいしか趣味がないので、特に不自由なくすごしています。楽器といえば、音が大きいので中々練習できる場がないものですが、南和歌山医療センター近くの新庄公園は楽器吹き放題なのでストレス発散(練習)の場には最適です。雨の日は公園で遊ぶ人もいないので迷惑をかけずに練習が可能です。晴れの日には子供たちに絡まれることがあるので注意してください。また、ライブ観戦は田辺に住だと中々困難と思われそうですが、私の調べでは高速道路を使用すれば仕事が終わってからでも大阪にライブ観戦に行くことができます。大阪で平日にライブを行うグループは、もう少し曜日と田舎に住む我々のことを考えて欲しいものですが、不可能ではありません。一度試された方は体験報告頂ければ幸いです。ちなみに、私は基本的に管楽器が多く出ているバンドが好みなので、同様にボーカル以外にも管楽器が好きな方がいらっしゃれば、おすすめのバンドがあれば是非教えてください。最近では、ラジオでたまたま聞いたチャラン・ポ・ランタンの時計仕掛けの人生が中々良かったです。YouTubeで視聴できたので、是非検索してみてください。なお、Amazonプライム会員の方はAmazon Musicを使用することで多種多様な音楽を無料で視聴可能ですので、今まで興味はあるもののCDを買うほどじゃないなと思っていた曲がある方は是非ご活用ください。

以上です。今後ともよろしくお願い致します。

# 病院のまど

## 第57回市民健康講座

緩和ケアはがんが進行してから受けるもの、というイメージはありませんか？決してそうではありません。緩和ケアはがんと診断された時からがん治療と一緒に受けるケアです。がん治療中に経験する様々な症状(痛み・吐き気・食欲不振・だるさ・気分の落ち込みなど)を和らげ自分らしく日常生活が送れるよう一緒に考えます。初期からの緩和ケアについてお話しします。

日時 平成28年3月6日(日)  
午後2:00~3:00

演題 がん治療をささえる緩和ケア

演者 内藤 京子(紀南病院  
がん診療連携センター医師)

会場 紀南病院 3階講堂

### 学校便り

#### 入学試験

1月14日・15日に平成28年度前期の入学試験が行われました。受験者55名中18名が合格しました。倍率は3.1でした。後期の入学試験は3月10日・11日に行われる予定です。

#### 第105回看護師国家試験

2月14日に39回生31名が受験しました。前回の試験場は近畿大学でしたが、今年度の試験場は桃山学院大学でした。全員、無事に合格できるようにと願っております。

### 編集後記

春は別れと出会いの季節です。この春、家族が卒業を迎える方もいるのではないのでしょうか。私にとって卒業といえば卒業式。私が学生だった頃卒業式の定番ソングといえば、海援隊の「贈る言葉」、尾崎豊の「卒業」、ユーミンの「卒業写真」、他にも斉藤由貴の「卒業」などでした。しかし、今の卒業式の定番といえば、レミオロメンの「3月9日」、川嶋あいの「旅立ちの日に」などのようです。どの世代の人にも、この歌を聴けばこの場面を思い出すといった定番ソングがあるようです。

7東 山田恵美

### New face さ〜ん 《医師》



#### 《こころの医療センター精神神経科》

ふかみず なおみ  
深水 なお美

①京都②音楽を聴くこと・友達とおいしい物を食べに行くこと③2月より医大からこちらへ来させて頂いております。不慣れな面も多いですが、どうぞよろしくお願い致します。

- ①出身地
- ②趣味  
(特技・得意技)
- ③一言アピール  
(敬称略)

## daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

- |           |   |
|-----------|---|
| 和歌山事業所    | : 〒641-0012<br>和歌山市紀三井寺855-71                     |
| 紀三井寺事業所   | : 〒641-0014<br>和歌山市毛見 1111-1                      |
| 大阪支店      | : 〒550-0002<br>大阪市西区江戸堀 3-5-27                    |
| 南大阪支店     | : 〒594-0031<br>和泉市伏屋町2-16-11                      |
| 紀南支店      | : 〒646-0011<br>田辺市新庄町3778-2                       |
| 神戸支店      | : 〒650-0023<br>神戸市中央区栄町通5-2-6                     |
| 奈良支店      | : 〒630-8115<br>奈良市大宮町4-295-10<br>奈良朝日生命川口ビル 1F    |
| 関西空港営業所   | : 〒590-0523<br>泉南市信達岡中919-1                       |
| 新宮営業所     | : 〒647-0052<br>新宮市橋本 2-5-61                       |
| 東京麹町オフィス  | : 〒102-0083<br>東京都千代田区麹町3-5-2<br>BUREX 麹町 301号    |
| 京都丸太町オフィス | : 〒606-8395<br>京都市左京区丸太町通川端東入<br>東丸太町32-3 上田ビル 3F |

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

**SEIKO MEDICAL**  
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

- |   |   |
|---|---|
| ■本社<br>〒640-8287 和歌山県和歌山市橋本6丁目9番地の10<br>TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223   | ■田辺営業所<br>〒646-0011 田辺市新庄町2744番地<br>TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578 |
| ■大阪支店<br>〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号<br>TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619    | ■新宮営業所<br>〒647-0072 新宮市蜂伏20番22号<br>TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133  |
| ■医大前営業分室<br>〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13<br>TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781 | ■奈良営業所<br>〒632-0082 天理市荒崎町56番地の4<br>TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810 |